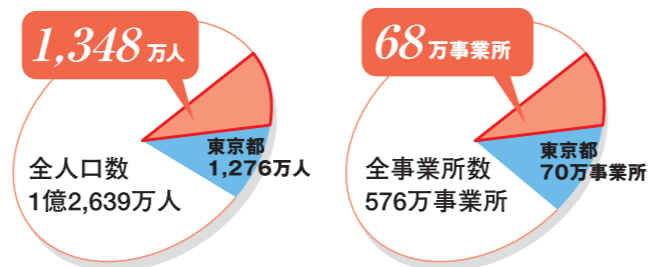


池田泉州銀行は、全国有数の恵まれたマーケットで、「地域の皆さまからのご支持No.1」を目指します。

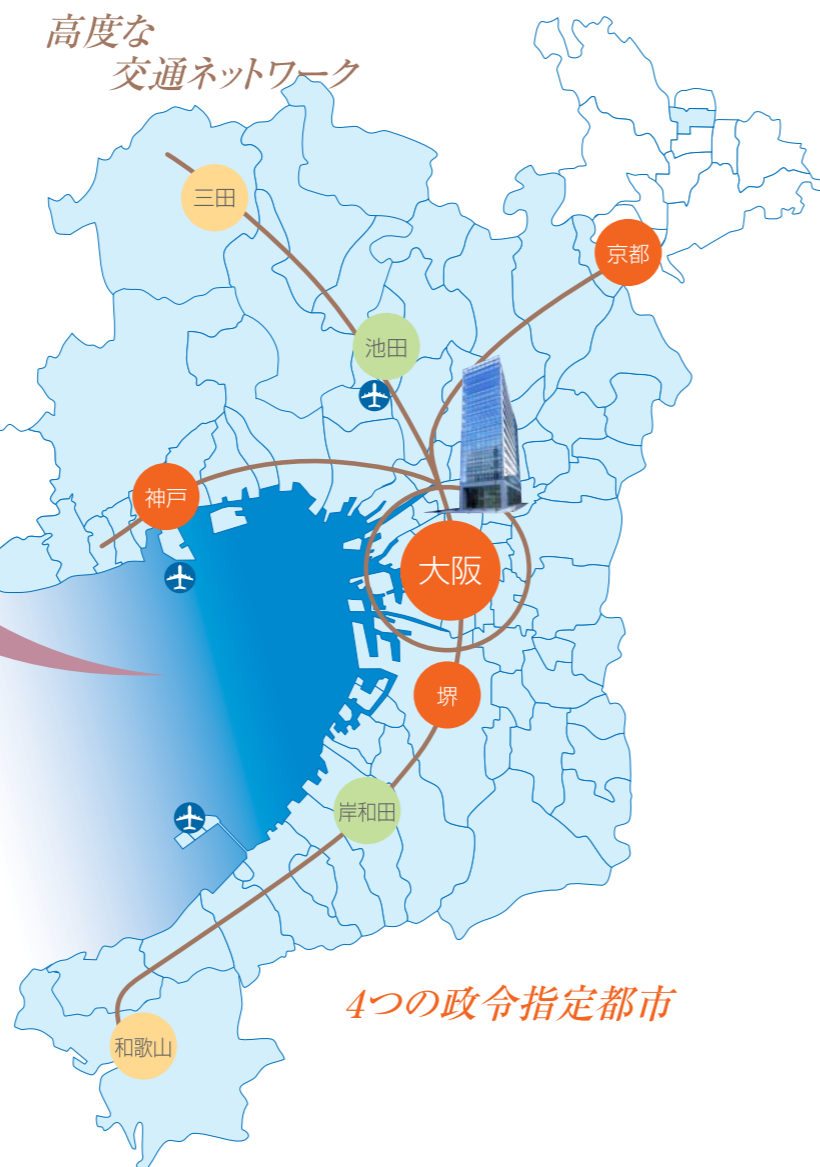
東京都に匹敵する人口と事業所が高密度に存在



(出所)人口数=総務省「住民基本台帳人口要覧(平成24年)」
事業所数=総務省「経済センサス(平成24年)」



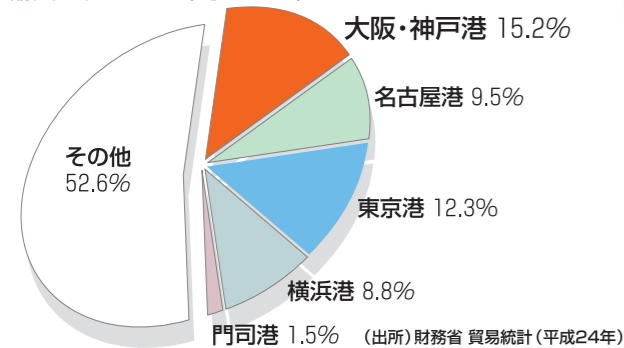
高度な交通ネットワーク



4つの政令指定都市

阪神港、3つの空港を有し、アジア貿易では国内No.1

輸出入額シェア(対アジア)



当社グループの営業エリアは、高度な交通ネットワークと4つの政令指定都市を有し、東京都に匹敵する人口と事業所、そして、アジア・チャイナ・ゲートである阪神港と3つの空港を有した全国有数の恵まれたマーケットです。

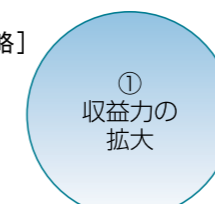
しかも、従来からのバランスのとれた産業構造に加え、現在、大阪では大規模プロジェクトが相次いでおり、大阪駅北側の再開発エリア「うめきた」では、昨年4月に第一期事業の「グランフロント大阪」が開業、阿倍野・天王寺地域では、本年3月、高さ日本一の超高層複合ビル「あべのハルカス」がグランドオープンするなど、今後ますます成長が見込まれる極めて高いポテンシャル、いわば「地域力」を有したマーケットです。

こうした中で、人口減少や地域経済の変遷など変化する将来に向け成長戦略をより確かなものとするため、従来からの「グループ中期経営計画」は推進しつつ、将来の環境変化を踏まえた持続可能な収益モデルを付加し、2020年度に向け「長期経営計画」を策定しました。

長期経営計画 ~2020年度に向けて

目指すべき姿は — “関西No.1のリレーションシップ地域金融グループ”
~地域の皆さまからのご支持No.1~

【重点戦略】



① 収益力の拡大
独自の提案力強化と変化に対応した「ビジネスモデル」確立



② 強靱な企業体質の確立
BPRの徹底
↓
合併シナジー極大化



③ 自己資本の充実
最適な長期的資本政策の遂行

■2020年度の目指すべき経営指標

	2013年度 (実績)	2015年度 【中期経営計画】	2020年度 【長期経営計画】
池田泉州ホールディングス(連結)			
経常利益	175億円	185億円以上	250億円以上
税金等調整前当期純利益	196億円	185億円以上	250億円以上
当期純利益	166億円	160億円以上	165億円以上
自己資本比率	10.49%	10%程度	10%程度
池田泉州銀行(単体)			
コア業務純益	132億円	210億円以上	270億円以上
総資産	5兆3,386億円	5兆5,000億円以上	6兆円以上
コア業純ROA(与信コスト控除後)	0.29%	0.3%台半ば	0.4%台半ば
コアOHR	77.7%	60%台	60%台前半
自己資本比率	9.69%	10%程度	10%程度